

(提言)「持続可能な地球社会の実現をめざして
—Future Earth (フューチャー・アース) の推進—」

1 現状及び背景

地球環境は、特に産業革命以降における人類の活動の結果、大きく改変されつつある。そのため、私たちは自らの生存基盤を揺るがす可能性も含む人類史上での大きな転換点に立たされている。人類世(人新世)とも呼ばれるこのような状況のもとで、地球環境の保全と持続可能な地球社会の実現を模索するために、世界の研究者コミュニティと国連機関及び資金提供機関などが組んだ国際プログラム Future Earth(フューチャー・アース: FE)が動き出している。このFEでは、人間活動も含めた地球システムの統合的な理解を自然科学と人文社会科学の学際的な連携により進め、さらに地球環境問題の解決と持続可能な社会の達成に向けて、科学コミュニティと社会のさまざまな関係者との協働による超学際的(transdisciplinary)研究と実践を進めている。

我が国は、これまでの地球環境変化研究の国際プログラムを通じた研究実績や、地球温暖化対策や国連の持続可能な発展目標(SDGs)の策定への参画など、具体的な局面で大きく貢献してきた。これらの実績を踏まえ、FE研究推進のための国内体制を社会の関係者と協働で構築し、特にアジア地域が抱える地球環境問題の解決と持続可能な地球社会への転換に向けた研究と実践を、国際的に連携・協働しつつ強力に進めねばならない。

ここに、我が国におけるFE推進のため、すべての科学コミュニティ及び社会の関係者(政策担当者、企業、地方自治体、メディア、教育関係者、市民団体など)に以下の提言を行う。

2 提言の内容

- (1) 学際的研究と超学際的連携と推進のための研究・教育・実施体制を構築する
- (2) FEの国際的リーダーシップを果たすための体制を構築する
- (3) これまでの我が国の実績と強みを最大限に活かしつつ、アジアを中心として国際的に取り組むべき具体的研究課題を以下に提示する
 - ① 長期的視野に立った地球環境の持続性を支える技術・制度の策定
 - ② 持続可能な都市および生活圏の構築
 - ③ エネルギー・水・食料連環(ネクサス)問題の同時的解決
 - ④ 生態系サービス(生態系から人類が受ける受益)の保全と人類の生存基盤の確保
 - ⑤ 多発・集中する自然災害への対応と減災社会を見据えた長期的ビジョンの策定